

南日本新聞掲載

令和7年1月27日(火)

歯のはなし

歯周病は細菌による炎症が歯ぐきから骨へ広がり、歯がぐらついて、最終的には抜け落ちてしまう可能性のある病気です。成人の約8割が何らかの症状を抱えるほど身近であります。自覚症状が乏しいため、気づかぬうちに進行してしまう場合があります。

歯を失うと食事や会話に支障が出ます。生活の質が大きく損なわれることが考えられるため、早期発見のための歯周病検診はとても重要です。

近年の研究では、歯周病が糖尿病の悪化や心筋梗塞、脳梗塞のリスク上昇、さらには認知症との関連など、全身の健康にも深く関わることが示唆されて

歯周病検診



定期検診中の口の中

齧や費用は異なりますが、幅広い年代に検診の機会が設けられ、内容も実態に合わせて更新されています。検診では歯科医師や歯科衛生士が歯や歯ぐきの状態を丁寧に確認し、歯周ポケットの深さなどを調べます。短時間で痛みもほとんどなく、「安心を得るための小さな投資」と言えるでしょう。

予防の基本は毎日の歯磨きと、定期的な専門家によるケアです。受診することで現在の自分の状態を知り、必要な対策を早めに取ることができます。20歳のときに歯周病検診を受けた患者さんは、その後も継続して半年ごとに口内のクリーニングに通っています。検診をきっかけに自身の口腔の健康に关心を持ち、日頃のケアにも積極的に取り組むようになりました。

人生100年時代。食べる喜びや話す楽しみを守るためにも、ぜひ積極的にご活用ください。

(鹿児島県地域歯科保健委員会・河

安心を得るための投資

村良彦